

令和4年8月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 森本 貴之

令和4年大山町議会議員研修報告書

1	研修名	鳥取県町村議会議長会 広報研修会	
2	日時	令和4年 8月3日 (水)	
3	研修地	鳥取県東伯郡三朝町 「溪泉閣」	
4	研修内容	(内 容)	(場 所)
		(1) 読まれ・信頼される議会広報のための効果的な編集・レイアウト	溪泉閣
		(2)	
		(3)	
		(4)	
5	研修結果 又は概要 (意見・感想)	読まれ・信頼される議会広報のための効果的な編集・レイアウト 講師 吉村潔 ・議会活動への理解と関心を深め、広報活動をさらに強化するために、広報づくりの羅針盤となる編集方針の策定は重要である。 読んでほしい人を想定すると、編集方針が具体化していく。 ・表紙は、シンプル&インパクトを重視する。 広報写真は人物が中心であり、文字は少なめ、中面を開きたくなるフレーズにすること。また、説明よりイメージと色のコーディネートが大切である。 ・特集テーマには事欠かない。テーマごとの焦点や論点を明確にすることも大切である。住民の関心の高い案件をクローズアップし、読者が共感し、意識変化にもつながる特集を意識すること。 ・予算決算を含む議案審議は住民目線で絞り込む。 「あれもこれも」詰め込むと全体がぼやける。テーマを絞り、焦点化していく事が大切である。 ・公聴と広報を一体化した誌面づくりを心がけ議会活動をアピールすることが大切である。	

5	<p>研修結果 又は概要 (意見・感想)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 請願・陳情は丁寧な対応、説明が信頼につながる。 ・ 一般質問の見出しは自分ごとに感じるように、できるだけ具体化する。議員が何を質したかアピール紙面を目指すこと。 ・ 紙媒体の広報誌をメディアの特性を生かし、連携させていくことも大切である。ホームページの活用や、スマホからの閲覧など様々なシーンが想定できる。 ・ 文字情報を視覚化するアプローチも重要なポイントで、絵本のようにわかりやすくするなど、本文のない紙面づくりが増えている。 ・ U D フォントの活用や色使いの基本、文章のまとめ方など様々な編集に役立つ基本を学んだ。 ・ コロナ禍で、議会の I C T 化への動きが加速している。ネット配信やタブレット議会、オンライン会議などへの取り組みが紹介された。また、S N S の活用事例も興味深いものが多かった。
		<p>(5) まとめ</p> <p>議会視点で伝えたい情報をシンプル且つ明確にする工夫や、手に取り、読んでみたくなる広報誌作りには欠かせないノウハウを学ぶことが出来ました。</p> <p>研修で学んだことを今後の委員会活動に生かし、より良い広報誌作成に尽力します。</p>